



地区広報

おやまだ

第 23 号

平成15年 3月31日



写真はおかあさんと楽しそうに踊る園児たち

地域に根ざした保育園

すこやかに育つ環境を

雲ひとつない青空。朝早くから多くの人びとがためかけた久間田保育園の運動会。

はちきれそうな笑顔をふりまき、いきいきと日ごろの練習を見事に発揮。拍手や声援をいっぱい受けました。



心身ともにたくましく、豊かな感性と想像力を培い、心のこもった家庭的な環境で思いやりのある、質の高い保育を心がけ、地域に根ざした園にしたいと、澤田園長先生は言われます。

私たちは、お互いに手を携え、明るく、すこやかに育つ環境で、住みよい小山田を築かなくてはなりません。五十年の節目を機に、四月から移転し、ひろびろとした新しい園舎での保育が始まります。

主な内容

- P
- 2・3 特集 わたしと家族
- 4・5 地区文化祭
- 6・7 おやまだトピックス
- 8 文芸・クイズコーナー

わたしの家族



家族の断絶が叫ばれてから、久しくなります。殺伐とした世の中ですが、この小山田地区にはたくさんステキな家族の方がみえます。

私の家族

山田町 塚脇 三雄

私たちの仲間は、日本犬の雑種（体毛茶系の二匹と黒の一匹）と、アメリカンシヨートヘア系の目玉ブルー色の可愛らしい猫一匹で、山田梅林荘のお家で飼われております。皆メスです。「ちー子」（平成二年生れ）その子の「らん」（平成十一年生れ）と他人が堤防で拾ってきた「めー」（平成十一年生れ）の三匹の犬と「ミー子」（平成十三年生れ）の猫です。皆生まれてやつと目があった頃に拾われたご縁です。

朝晩の食事は、キッチンルームで一緒にいただきます。お互いの食器は決められており、自分の食器以外のものを食べることは絶対にいたしません。ですからほえたり奪い合うということはありません。もつと食べたいと思ったときは、ご主人や奥様のところへ行き前足で「下さい。下さい。」と静かに催促をするか、顎をご主人の膝に乗せて待ちます。

お家の皆さんが外出される時は、お部屋で留守番します。朝から夜まで一日中待つこともあります。でもいつもおみ

やげをいただけるので楽しみです。私たちは、お家の食事とかお菓子は勝手に口にしたり食べたりいたしません。又、外に出たいときは、しっぽを振り振り出入り口の方へ行ったり来たりして、合図をいただきます。戸が開いていても勝手に外に出ません。家に戻ったときは足を拭いていただけまで待ちます。

お家にお客さんがある時はうれしいです。お客さんにお茶菓子が出来ますから、欲しいなあと考えて近くにおりますと、時折くださいます。傍に寝そべるか、座つておとなしく仲間入りしてお話に耳をかたむけます。ちー子は、ご主人がお経を勤められる時は、主人の後に寝そべって一緒におります。

山田梅林荘に来訪者がある時は、住居から百五十メートル位のあたりから一斉にほえます。それは来訪者のあることを知らすためです。私たちは、今までに吠えるだけで噛みついたことはありませんが、様子のおかしい怪しげな人には噛みつきまます。まず足元の靴を噛みつきまます。ご主人にはサンダル等履物に噛みつきまます。

らんには特技があります。指を一本さしたすと「ワン」

と二本出すと「ワンワン」三本出すと三声で答えます。猫のミー子はらんの毛が長くやわらかく、またおとなしいのでいつも一緒に寝ます。私たちは、ドライブが大好きです。お家の人に「プープーで行く」と声をかけていたたくと、すぐ車に乗り込みます。いつも外出は楽しいです。毎日元気に過ごしています。



瀬戸少年院

研修視察

山田町 宮崎 庄司

一月二十八日三交バスにて市民センターを八時に出発し和気あいあいの雰囲気の内、話に花を咲かせながら、現在収容人数二百名の瀬戸少年院に到着しました。

次長の八田さんから、一般的な概要説明がありました。当少年院は昭和九年に設立され、長い伝統のもとに四種別

二処遇、五課程、年間行事（毎月行事有り）、少年の一日などの教育の流れについて説明を受けました。次に、教育現場を榎原さんに説明を受け視察しました。生活指導、職業訓練、教科教育等をはじめとする各種訓練です。

感じたことは、視察者を見る者は一人もなく、改善更正に努め、少年たちの励んでいる姿は言葉では表せない程でした。この少年たちの健全育成を願いました。

特に中学生の姿は痛々しく感じました。四人部屋は約五畳・個室は二畳の広さで、各部屋には大きな時計、小さな整理たんすと机、窓ガラスは何時我が身（心）を写す特殊ガラスの様でした。

送致の保護処分として決定された十四歳以上二十歳未満の非行少年たちの更生を図ろうと一生懸命に努力されている若い力と心を視察し、人生行路となるとも良い研修でした。



私の家族

山田町 田中 正信

「家族って何だろう。」当たり前前のことのように思うが、赤の他人同士が結婚して子どもをもうけ、一家を作り上げていく不思議なものです。

かくいう我が家も爺・婆・若夫婦・子ども二人の三世代の家族です。四歳の孫はとも元気で、泣いたり怒鳴ったり。いやはやてんやわんやの大騒動の毎日。

でも、朝起きてくれば「おじいちゃん、おはよう」夜寝る前には「おやすみなさい」と素直に言いに来ます。また、私が外から戻ると「おかえり」と同時に「お土産は？ お菓子は？」と口癖のように必ず言います。調子のよい日は、「今日はお風呂、おじいちゃんといはいる。」と言いつつ、なかなか気に入って来てくれるようです。

ところが、『三つ・四つの憎まれ盛り』気に入らないことがあると、何とも手のつけようのない変身ぶり。私たち爺・婆も目にあまる時はきつくしかります。その時、嫁はとて物分りがよく、悪い事をしてる孫に私たちと一緒に「何でおじいちゃんに怒られたのか分かるの。そのような事をしたあなたが悪いんだよ。これから、そのような事はしないでね。わかつた？ おじいちゃんに誤りなさい。」と諭します。私もこれには感心しています。

二、用事で出かけるときは、「〇〇へ行きます。お願いします。」無断外出ナシこれだけは実行しようと固く話し合いました。もう十年近になります。今でもきちんを守っています。お互いに相手を尊重し、相手の行動に干渉しない、これを鉄則として曲がりなりに一大家族を形成しています。

世間には、おじいちゃんやおばあちゃんの子育てに口出ししないという嫁も多々あると聞くが、悪いことをしたときは、それを皆でしかり、『悪い』と悟らせることは、本当に大切な事ではないかと思う。食卓を皆で囲み「いただきます」「ごちそうさま」これがいえる家族。まあ自分でいうのもおこがましいが、これで我が家は上出来だと思つています。

二人の子育てで大変なうえ朝昼晩飯の準備、掃除洗濯等主婦として休むひまのない嫁を思い、私たち老夫婦は暇があれば、少しでも嫁の負担が少なくなるように孫の相手に努めています。

もとは、他人同士、これがひとつ屋根の下で生活していくのです。お互い相手の身になつて気を配つて、そこで円満な家庭が営まれるのではないのでしょうか。嫁が嫁いできた時の決め事として、
一、朝起きたら、「おはようございます」

人望という言葉は辞書でひくと、「世間の尊敬、信頼、人気」などと説明されている。人気というと、ジャリタレの人気も人望かと言われる。でも困るので、「人望」とは、何かをやるのだったら、この人と一緒にやりたい。そう思わせる人間性」と定義しておきたい。

柴大りきの初夢

内山町 矢田 哲

首輪の抜けたの幸いに素早く茶畑駆け抜けて

マルの小屋へとまっしぐら赤いりぼんをつけられて今からお散歩に行く処

ピニール袋に移植して白いマフラー首にまき可愛いマルにお似合いの高校二年のお姉さん僕も一緒におつき合い
桜並木の川の岸いつもの所におシッコを足にかからぬようにつけかけマルと鼻先なめ合つてアツ!!冷た、粉雪なめて目が覚めた。

人望という言葉は辞書でひくと、「世間の尊敬、信頼、人気」などと説明されている。人気というと、ジャリタレの人気も人望かと言われる。でも困るので、「人望」とは、何かをやるのだったら、この人と一緒にやりたい。そう思わせる人間性」と定義しておきたい。

人望

山田町 清水 延和

人

その小坊主が後の三成になる。そして秀吉が死の間際に後事を託した五奉行のひとつにまで出世していたのである。
ところで慶長五年九月十五日、関ヶ原で天下分け目の戦が行われた。
西軍・勢力八万。総大将石田三成、他に毛利秀元、宇喜多秀家、小西行長、小早川秀秋、長宗我部盛親、島津義弘、安国寺恵瓊、谷吉継、脇坂安治など。
東軍・勢力七万五千。総大将徳川家康。他に福島正則、井伊直政、黒田長政、細川忠興、山内一豊、池田輝政など。

ある時、鷹狩りに出た秀吉は、喉が渴いたので、近くの寺へとび込み「茶を所望じゃ」とすると出てきた小坊主は、大きな茶碗にぬるい茶をなみなみと入れて出した。よほど喉が渴いていたとみえて、秀吉は一気に飲み干し「もう一杯。」小坊主は今度はやや小さめの茶碗に少し熱くした茶を出した。それも飲み干した秀吉は「もう一杯。」小坊主は今度は小さい茶碗に熱いお茶を入れて出した。秀吉は「こいつめ、凡庸ではないな」と召し抱えるのだが、

ここで後世の史家が指摘するのは、東軍のほとんどが秀吉恩顧の武将達であったということである。彼等が何故西軍に加わらなかったのだろうか。これらの武将達の三成への嫌悪を、その理由とする説が有力である。
戦が始まって毛利は全く動かず、小早川、脇坂らの裏切りにあつて、西軍の惨敗

となり、三成はたったひとりで伊吹山中をさまよつていくところを、土民に捕らえられつぎだされている。八万の軍勢の総大将にしては、あまりにも惨めな結末であると言わざるを得ない。敗軍の将は味方からも捨てられたのだ。
これとは全く逆に、土壇場になつても誰も見捨てず最後まで生き残つた約六百人が、喜んで死をともした人物がいる。

その名を西郷隆盛という。西南の役に、義勇兵を率いて参加した増田曾太郎と言う人の残したメモが残つていそうである。
「彼の人はまことに不思議なお人である。一日接すれば一日の愛を生じ、三日接すれば三日の愛を生ず」
薩摩の出身でなかつたこの人も、最後まで隆盛と行動を共にし、城山で見事に討ち死にしている。こういう人が、『人望がある。』というのだろうか。



あいと心のがよう文化祭”

区文化祭



・3(日)



玄人はだしのマジックショーに
みんなビックリ



素敵な作品がそろいました。





みんなで創ろう！ “ふれ

小山田地

11/2 (土)



古典的なものから新作まで
楽しい折り紙コーナーは大好評



なつかしい杵の音がさわやかな秋空に響き渡り、
大勢の人々で賑わいました。みんなのおなかも大満足！



きらりとセンスの光る



準備や後片付けにご協力いただき各団体、
ボランティアの皆様ありがとうございました



トピックス



加富神社と獅子舞い

山田町 田中 正信

加富神社では、毎年三月九日 祈念祭「御鑑」が斎行されます。昆虫類も冬眠から目覚め土からはい出し、草木も芽吹き活発な活動期にはいます。農作業もこの日をめどに準備にかかります。



神社では祈念祭御鑑で五穀豊穡の祈願とします。神社



の歴史は古く、正徳三年（約二八五年前）延喜式内正一位加富大明神 素戔嗚外二四柱を祭り、三重郡六社その一座の社であります。

祭礼には、お稚児さん・舞姫による浦安の舞が奉納されます。また、六名町より獅子舞の奉納も受けます。獅子は、宝暦二年（約二四〇年前）に造られたものです。六名町は昔、水害・干ばつ・疫病等災難事が続き思案に思案のすえ、神仏の加護に頼るしかない、獅子頭を造り神楽を奉納したのが始まり

だそうです。

椿の一本取りの獅子頭と優雅な笛の引導者に導かれた獅子頭は七人構成で三田流の十種の舞からなっています。一時期中断した時もあつたが古来から山田町に神楽奉納に来ていた、多くの人に感謝し、この伝統ある行事を永久に後世に継続していく事が、地域に生活している者の努めだと思っております。



ようこそ小山田美術館へ

青山里会

「小山田美術館」は旧小山田地区市民センターを社会福祉法人青山里会が譲り受け、小山田福祉センターとして活用してきたものを、バリアフリーに一部改装してオープンいたしました。地域の象徴であった頃からもっている歴史の重みや情感を大切にしたいこの「小山田美術館」は、地域の皆様から愛され気軽にご利用いただける美術館です。

一階のギャラリーは、どんなのどんな作品でも展示していただけるようになっております。一作品からでもかまいません。あなたの作品をぜひ、ご出品して下さい。

また、二階ギャラリーは個展などを自由にひらいていただけるスペースとなっております。小学校のクラス単位や中学校のクラブ、またその他活動されてみえる方などお気軽にご利用ください。地域の皆様からのたくさん作品・ご利用をおまちしております。

お問い合わせ先

小山田美術館

0593(28)2543。

交流の

まちづくり

小山町 北尾 喜子

三寒四温と申しませうか早春の息吹を感じる昨今です。

今年も婦人会活動に参加

する事により、多くの人と出合いがあり、色々と学ぶこともできました。地区内の行事も無事すませることができました。これもみな様とご家族のご理解とご協力があつてこそと、心より厚くお礼申し上げます。主婦として、さらに仕事をもつての婦人会活動は

至難の業でございます。

これからも住みよい、豊かな地域社会づくりを目指して積極的に取り組んで参りたいと思っております。主婦として家族の健康を守り、仕事・ボランティア活動に生きがいを見つけ、お役に立てばと思っております。





おやまだ

田植前の

水路清掃

鹿間町
岸本 鈴樹

鹿間町水利組合では、このほど春の田植シーズンを前に地主約八十人が、朝からスコップや鎌などで田植前の水路清掃と地下給水管の補修に汗を流しました。



小山田地区老人会

西山町 伊藤 美敏

小山田地区老人会は、各単位クラブごとに、八月から一月にかけて、高齢者教室を開催し講師をお招きして、教養・保健等の講座を行っています。

九月二〇日は、全国一斉に「社会奉仕の日」で、市民センター周辺の草刈清掃を行っ



ています。また、十二月には同和研修会を開催し、人権問題について理解を深めています。市の要請もあり、社会奉仕活動として月二回、小山田老人ホームの清掃・生花奉仕を行っています。昨年度は延一五三名参加しました。小学校の招きに応じて、戦前の遊び等で児童との交流を深めています。ニュースポーツ振興を文化祭の時に、小山田温泉まつりには、毎年



竹とんぼ作りに数名参加しています。

四日市市老人会には、囲碁・将棋・菊花作品展に多くの愛好家が参加しています。趣味の作品展の賞は昨年から廃止になりましたが、前年までは、地区として高率の入賞でした。年数回の旅行にも四日市の中でも最多の参加をして親睦を深めています。日本人は遊ぶことが下手と言われていますが特にわれわれの年代は無我夢中で働いてきましたが、これからは大いに遊んで、長生きのためにボケを防ぎ、健康を保ちたいと思っています。

新しい救急活動拠点ができました

南消防署西南救急分駐所が開所



小山田地区市民センターの敷地内に完成した南消防署西南救急分駐所が平成十四年十月一日から救急業務を行っています。この分駐所には、救急車一台と三人の消防職員が常時配置されており、二四時間体制で救急出動にそなえています。一カ月あたり約五〇件の救急車が利用されています。

救急車の到着時間が大きく短縮され、救命率が向上しています。地域にとっても頼もしい存在です。

救急出動件数

	10月	11月	12月	1月	2月
全市	878	930	982	1,903	869
西南分駐所	41	51	57	52	47



文芸コーナー

短歌

草取りて疲れし腰に

手をあてて 没日眺むも老いのしあわせ

鹿間町 酒井 三春

新春の杜の緑深々と

拍手響く森に陽の差す

川柳

コンビニの弁当のカラが税を喰い

内山町 矢田 哲

神明の杜に集う初詣

白き息はき杯を干す

内山町 矢田 哲

穏やかな村にうまれて

老い迎ふ友の多きは吾宝もの

鹿間町 岸本久美子

俳句

老いの字を避けて生きたし敬老日

鹿間町 酒井 三春

遺言書急ぐ事無い資産ゼロ

鹿間町 酒井 三春

山田町 清水 延和

地区の人口

(平成15年1月1日現在)

町名	世帯数	人口		合計
		男	女	
山田町	844	807	1,080	1,887
鹿間町	295	442	445	887
西山町	215	343	362	705
小山町	155	269	277	546
堂ヶ山町	125	228	242	470
和无田町	113	183	194	377
内山町	60	96	108	204
六名町	51	86	82	168
美里町	57	96	73	169
合計	1,915	2,550	2,863	5,413

おやまだクイズ

チャレンジ!!

ゼロより5のほうが強く、その5より2のほうが強くさらにその2よりゼロのほうが強いというのだが、いったい何の話か？



★ヒント★

手でたしかめてネ



応募方法

センター備え付けの用紙、または自分で作った用紙に答えを記入し応募箱に入れてください。

- 締め切り 4月25日(金)
- 正解者の中から抽選で10名の方に賞品が当たります。
- 当選者はお知らせ「おやまだ」で発表します。

あとかぎ

地区広報「おやまだ」第二十三号をお届けいたします。ご寄稿いただいた方々には心からお礼申し上げます。今回は、すてきなご家族を紹介させていただきました。家庭の在り方を考えるよい機会になればと思います。今後とも地区の活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

文化広報部長 萩 伸元